



今こそ、1つに! 笑顔を忘れず、みんなで乗り切ろう! 新型コロナに立ち向かう高齢者福祉施設の取り組み



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

東京の高齢者福祉施設・事業所では職員一人一人が新型コロナウイルス(以下コロナ)の感染防止・感染拡大を抑えるために、利用されている方の生活を守るために、必ず訪れる穏やかな日常のために、日々、奔走しています。本特集では施設でのコロナ発生時、重症化しやすい高齢者の命と生活を支えるために東京都高齢者福祉施設協議会(以下、高齢協)が行う取り組みと、コロナ禍で行う地域公益活動について紹介します。



東京都高齢者福祉施設協議会とは?

東京都高齢者福祉施設協議会(高齢協)は、東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です。(会員数約1,200施設・事業所)

コロナ感染発生時にも適切な介護と施設での生活を維持できる取り組み



昨年、東京都、東京都社会福祉協議会、東京都老人保健施設協会の三者により、都内の施設でコロナ感染が発生し、その対応による職員不足への調整が法人内または地域では難しい場合に、他法人の施設からの応援職員派遣を行う協定を締結しました。



● 応援派遣を行った会員施設へのインタビュー ●

INTERVIEW

社会福祉法人 楽友会 特別養護老人ホーム 白楽荘

● 施設長 芦田 弥生さん ● 介護担当課長 堀内 麻衣子さん (応援スタッフ)

芦田 現在はコロナが広く蔓延し、いどこで発生してもおかしくありません。介護現場が、コロナ発生時に厳しい状況となったときに少しでもお役に立てるよう、応援職員派遣に登録しました。

応援職員へのコロナ感染の不安もありましたが、派遣先施設では最初に検査があり、非感染エリアでの応援業務でしたので、安心できました。

堀内 派遣では戦力になりたいという意識が強くありましたが、役に立てるかという不安もありました。自身が感染源とならないよう、私生活も普段以上に気を付けました。着任すると、派遣先の施設からご利用者それぞれの情報や物品の使用法など丁寧なレクチャーがあり、スムーズに業務に入れました。また、地域での研修などで顔見知りの方がいて、コミュニケーションの取りやすさにつながりました。生活周りの環境整備と利用者対応に取り組んだ結果、派遣先施設から感謝の言葉があり、お役に立てて、良かったと思います。反面、慣れたところに派遣が終了し、もっと力になれたのではという反省もありました。

芦田 今回の派遣を経て、改めて地域での相互扶助の意識も高まったと感じます。大変な時にお互いを助け合えるよう、地域の関係をより深く、支援できる体制を整えていきたいと思っています。

堀内 派遣を通じて、学ぶところが多くあり、同時に自施設の強みを見直す機会にもなりました。今回の経験を、自法人および地域全体の介護レベルアップにつなげていきます。

INTERVIEW

ファミリーマイホーム

● 施設長 田代 航也さん ● 介護課長 志村 富和さん (応援スタッフ)

田代 コロナの収束はまだまだ見えず、感染対策をしても私たちの施設でも感染が発生する可能性は拭えません。コロナ発生施設でのお力添えをするとともに、仮に当施設で感染発生してしまった場合の対応も学びたいと考え、応援職員派遣に登録しました。

志村 応援要請では清掃やシーツ交換、物資の仕分けなどの間接部門が人手不足とのことで、着任後はまずその業務にあたりました。初日の午後には派遣先施設スタッフとペアを組んでの入浴にも従事し、三日目には一人での直接介護業務にもあたりました。

派遣を通じて仮に当法人で感染が発生した場合の対応も学べました。派遣先法人ではコロナ感染エリアには法人内職員が応援に入り、派遣スタッフは非感染エリアへの派遣となっており、当法人でも同様の対応ができると思います。また、応援派遣を受ける際には応援スタッフが力を発揮できるよう、願っている業務をまとめておくことが必要だと感じました。

田代 今回の派遣を通じて、支援を行う際には顔の見える関係がある方がスムーズにコミュニケーションが取れると感じました。緊急時のためのガイドラインを整え、施設間で協力しやすい関係ができるよう、コロナが厳しい中だからこそ他施設や地域とのつながりを構築し準備を整えたいと思っています。

● コロナ禍でも地域公益活動を継続しています ●

令和二年度 東京の介護ってすばらしい! グランプリ オンライン開催!

高齢者福祉施設における日常のさまざまな場面にスポットライトをあてながら、介護の仕事の魅力を広く伝える目的により開催される「東京の介護ってすばらしい! グランプリ」。

本年度は動画部門、レシピ動画部門、メッセージ部門について、高齢者福祉施設・事業所の職員・利用者・ご家族より募集しました。本コーナーでは応募作品の一例を紹介します。

● 応募動画とメッセージを見て、アンケートに答えた方に粗品をプレゼント

右のQRコードの高齢協リンク先サイトにて、応募作品一覧を公開中!

同サイトのアンケートにお答えいただいた先着200名の方にオリジナルモバイルチャージャー(銀色または赤色)をプレゼントいたします。(※色は指定できません)

応募作品のうち、印象に残ったもの3つを選んで回答! 選んだ作品の感想などをお書きください。



● 動画部門

動画部門では施設の特徴や独自の取り組みのワンシーンを切り取り、福祉の日常の楽しさを紹介しています。

動画部門応募作品タイトル

- 【ひのでホーム】あなたに伝えたい! 介護のミリオク ひのでホームのミリオク (東京都)
- 【職員炎上!?】ご利用者と芋煮作ってみた☆ 良友園(瑞穂町)
- 増戸ホーム紹介動画(あさる野市)
- “裸足”で活動するデイサービスの取り組み デイサービスセンターかなまち(葛飾区)

- “オンライン”高校生介護一日体験の取り組み 新宿在宅サービスセンター(葛飾区)
- 上石神井特別養護老人ホームの暮らし紹介動画(練馬区)

● レシピ動画部門

レシピ動画部門では高齢者の方に提供する低塩分・低カロリーで栄養バランスの取れた施設での食事レシピを紹介。材料や作り方のポイント、特徴などを動画にしています。

レシピ動画部門応募作品タイトル

- 「五感で楽しむ～吹き寄せ散らし寿司～」(特別養護老人ホーム神明園)
- はんぺんと鶏挽肉のパン粉焼き(偕楽園ホーム)
- 映え確!カラフルガトーインビジブル(特別養護老人ホーム良友園)
- 鮭の洋風蒸し(サンホーム(ひかり苑 合同調理場))
- ソフトとんかつ(台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪)
- 鯛の蒸し(社会福祉法人泉陽会 新町光陽苑)



同時開催!

医療福祉系謎解き イベントMystic Minds

全国各地で盛況をおさめてきた福祉系謎解きイベントMystic Mindsのオンライン版が東京の皆様に向けて初登場!!

キットを取り寄せて自宅でお友達や恋人などとオンラインで繋がり、遊びながら福祉・介護にまつわる体験をもとにミッションをクリアしていく新感覚のオンライン謎解きです!

本作品はペアで遊んでいただくコンテンツです。遊ぶ相手を決め、LINEなどビデオ通話ツールを活用してお互いに離れた場所からプレイします。謎解きキットは申し込み後郵送で届きます。

申し込み方法

受付中 ~3月26日(金)
先着150組300名
Peatixによる事前申し込み制

開催期間

開催中 ~3月31日(水)
※所要時間60分程度

